

JRPA **リカパー** 通信

Japan Recovered Paper Association Public Relations Magazine

No.7

発行 / 全国製紙原料商工組合連合会
東京都台東区東上野 1-17-4

電話 / 03-3833-4105

発行人 / 栗原 正雄

編集長 / 高橋 宏明

発行日 / 2023年2月25日



東京駅

CONTENTS

3 年頭所感

全国製紙原料商工組合連合会 理事長 栗原 正雄
経済産業省製造産業局 素材産業課長 吉村 一元
日本製紙連合会 会長 加来 正年
公益財団法人古紙再生促進センター 代表理事 長谷川 一郎

7 地域組合年頭所感

北海道製紙原料直納商業組合 理事長 長谷川 裕一
東北製紙原料直納協同組合 理事長 鈴木 隆男
関東製紙原料直納商工組合 理事長 大久保信隆
東京都製紙原料協同組合 理事長 上田 晴健
静岡県製紙原料商業組合 理事長 菊池 初彦
中部製紙原料商工組合 理事長 石川喜一郎
近畿製紙原料直納商工組合 理事長 矢倉 義弘
大阪府紙料協同組合 理事長 須田 充訓
兵庫県製紙原料直納協同組合 理事長 仲 清次郎

中国地区製紙原料直納商工組合 理事長 小六 信和
九州製紙原料直納商工組合 理事長 岩淵 慶太

18 特集Ⅰ 職場におけるパワーハラスメントとは

株式会社丸十商店 顧問 社会保険労務士

22 特集Ⅱ 事業およびCSRとしての脱炭素の取り組み

渉外広報委員長 斎藤 大介

26 全国製紙原料商工組合連合会 新年会

平穏な古紙価格の推移に期待 リサイクルシステムの維持・発展へ

30 地域組合活動

東京都製紙原料協同組合の紹介

東京都製紙原料協同組合 渉外広報委員会 高橋 宏明

32 協賛各社

34 編集後記

東京都製紙原料協同組合 渉外広報委員会 高橋 宏明

年 頭 所 感



全国製紙原料商工組合連合会

理事長 栗原 正雄

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会会員並びに古紙関係団体の皆様方には大変お世話様になり心より御礼申し上げます。

昨年はコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻等により、欧米を中心に世界経済が急激にインフレ高進する中で古紙市況は年後半に新聞古紙雑誌古紙は発行量の減少から回収量が減少し輸出価格が上昇し始め、国内価格も影響を受け現在に至っておりますが、皆様方には冷静に対処されていることは何よりのことと存じます。

段原紙の輸出量が依然増加傾向にあります。が、昨年の国内古紙の回収率は80%を維持するものと期待しています。本年も引き続き品質の維持と回収量の確保に努めたいと存じます。

中国は昨年同様本年も古紙輸入はひかえ、原紙の輸入中心に推移するものと思われます。東南アジア諸国の古紙は不足気味に推移し、日本からの輸出機会はさらに増えていくものと見込まれます。

今年は中国が本格的にウィズコロナに舵を切り景気が回復に向かえばアジア諸国の中国への原紙輸出がさらに拡大し日本への古紙の引き合いの機会が増えることが予想されます。

当連合会としましては、今年も関係団体の皆様と緊密に連携しながら、適正価格による取引を堅持し、国内製紙メーカーへの安定供給を第一に事業運営に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年 頭 所 感



経済産業省 製造産業局
素材産業課長 吉村 一元

令和5年の新年を迎え、謹んでお喜び申し上げます。また、平素より経済産業行政に対する深いご理解と格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、ワクチン接種の拡大等によりコロナ禍から徐々に経済活動が回復しつつあった中、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まり、これを背景とした国際的な原油・物価高騰や歴史的な円安など、息つく暇もなく新たな危機に直面することになりました。紙・パルプ産業においても、石炭をはじめとした原燃料価格の高騰などにより、様々な面で引き続き影響を受けておられると承知しています。

素材産業は、我々の身の回りにあるありとあらゆる製品の素材を供給することで社会経済を下支えする非常に重要な産業であり、また、これら素材産業が生み出す多種多様な素材は、それ自体が日本の競争力の源泉ともいえます。他方で、装置産業でもある素材産業は、生産プロセスにおいて大量の電気や熱を消費する「エネルギー多消費産業」でもあります。

我が国のCO₂排出量の約1/4を占める素材産業は、“Hard-to-abate”、すなわち排出削減が困難なセクターと言われているように、GXの実現は容易ではありません。従来とは全く異なる生産プロセス等の実現に挑戦する民間を後押しすべく、規制・支援一体型の投資促進策を講じてまいります。

これまでのグリーンイノベーション基金による研究開発支援や、石炭火力自家発電等の脱炭素化に向けた調査支援などに加え、今後10年

間で150兆円超の官民の投資を実現するべく、ロードマップに基づいて、GX経済移行債を活用した20兆円規模の大胆な先行投資支援や、カーボンプライシングの導入について方針を予め示すこと等を通じて、予見可能性を高め、民間投資を後押しします。

昨年2月に発表した「GXリーグ基本構想」には、既に日本のCO₂排出量の4割以上を占める500社以上の企業より参加表明を頂きました。本年は、GXリーグの活動を発展させ、GX経済移行債の発行や排出権取引の枠組みを含む「成長指向型カーボンプライシング構想」の検討を一層進めてまいります。

また、製造業の競争力強化を図る上で、サプライチェーン全体での取引適正化や、取引条件の改善も重要な課題です。昨年、3月と9月を価格交渉促進月間と設定し、取引環境の改善に向けた取組の普及・啓発を進めるとともに、業界緊急調査として、ロシア産石炭の依存度が高く輸入禁止の影響が懸念される関係業界のコスト上昇分の転嫁状況を調査いただきました。サプライチェーン全体の共存共栄を目指す「パートナーシップ構築宣言」については、大企業での更なる拡大と実効性の確保に取り組みます。

新型コロナウイルスの感染拡大についてはまだまだ注視が必要な状況ではありますが、経済産業省としては、様々な施策を総動員し、業界の皆様とも連携しながら、紙・パルプ産業の成長のために全力を尽くしていく所存です。紙は我々の生活には欠かせない、生活必需品でございます。引き続き国民の生活を支えていただくとともに、我が国産業にとっても重要な役割を果たしてゆかれることと期待申し上げます。皆様の御健康と御多幸を、そして紙・パルプ産業の更なる発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感



日本製紙連合会
会長 加来 正年

2023年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年、引き続き新型コロナウイルス感染の数次にわたる拡大やロシアのウクライナ侵攻、そして世界的規模のインフレの進行等、社会経済を取り巻く環境が目まぐるしく変化する1年となりました。

我が国経済は、年初のコロナ感染第6波では全国的にまん延防止等重点措置の発令があったものの、夏の第7波以降では特別な行動制限を課すことはなく、感染抑制と経済活動の両立が進められました。また、10月以降は水際対策が緩和されたことで、インバウンド需要も回復しつつあります。実質GDPは、四半期毎にコロナ感染の波の影響を受けプラスとマイナスを交互に繰り返す状況となり、回復への加速感には乏しいものの通年ではプラス成長が見込まれています。本年もコロナ感染症対策が進展したことで経済活動の一層の正常化が進むと予想される一方、資源価格、物価の上昇、世界経済の回復ペース鈍化による輸出減少といった景気下振れリスクがあり、先行きについては不透明な状況です。

こうした経済情勢の下、当産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。2022年の紙・板紙の生産、出荷はともに前年比ほぼ横ばいで、依然としてコロナ前の水準に回復するまでには至っていません。また、一昨年から上昇基調にあった原燃料価格は、ウクライナ侵攻による世界の資源情勢の激変に伴い急騰の一途を辿り、加えて急激な円安が拍車をかける状況となりました。特にエネルギー多消費型産業である当産業にとって、エネルギーコスト及び円安の影響は甚大であり、各社生産体制の見直しやコスト削減等の企業努力で吸収できるレベルを超えています。昨年、各社は多くの品種で価格修正を実施しましたが、コスト上昇分を補うには至らず、上場9社の2023年3月期決算は厳しい見通しとなっています。本年についても既に価格修正の発表がされている品種もありますが、業界各社が製品の安定供給を行うためにも継続的な再生産活動が可能な価格水準への是正は、市場経済を円滑に機能させていく上で重要な経済行為であると認識しています。

本年の紙・板紙需要に関しては、ウィズコロナによる経済活動の正常化やインバウンド需要の回復を背景に段ボール原紙を中心とするパッケージ用紙や衛生用紙などは堅調に推移することが期待される一方、デジタル化や人口減少といった構造的要因の影響を受けるグラ

フィック用紙は依然として厳しい状況が続くと考えられます。また、収益面においては、高水準で推移する原燃料価格、古紙原料の安定確保への懸念、為替動向等の不安定要素があり、特にエネルギー価格の動向が本年も最大のリスク要因になると考えています。

一方で成長が期待される分野もあります。昨年4月の「プラスチック資源循環促進法」の施行もあり、社会ではプラスチックから他の素材へのシフトが加速しています。この流れの中で、循環資源である木材から生産され、かつリサイクル可能な素材である紙への期待が益々高まっており、こうしたフォローの風を受け止め、新たな需要喚起へとつなげていくことが肝要だと考えています。また、新素材であるセルロースナノファイバーの用途開発をはじめバイオリファイナリー製品の開発にも各社取組んでおり、今後の需要開拓に期待が寄せられています。

日本製紙連合会といたしましては、産業の持続可能な発展へ向け、引き続き共通課題の解決に取り組むとともに、会員各社の経営努力が結実するようタイムリーかつ的確な環境整備や情報提供に努めてまいります。

具体的な事業としては、まず気候変動対策への対応があります。当会は昨年4月に「カーボンニュートラル行動計画」の2030年度エネルギー起源CO₂削減目標について、2013年度比で38%削減に強化しました。この目標達成に向けた取組を着実に進めていくとともに、その先の2050年カーボンニュートラルの実現に向けても、工程表を策定し業界としての対策を一層強化してまいります。次にサステナビリティの取組に関しては、昨年より「日本製紙連合会サステナビリティレポート」を発行し、業界の取組についての情報発信を強化しましたが、今後は、業界の持続可能な成長に向けての基本原則等の取りまとめを検討し、業界が果たす社会責任の明確化を進めていきたいと考えております。

また、需給動向の的確な把握と公表の基礎となる統計業務や各社従業員の安全・安心な労働環境を維持するための労働安全活動、2024年問題を目前に控える物流問題への対応、適切なサプライチェーン維持のための取引改善への取組み、さらに本年は、食品用紙・板紙に使用が認められる化学物質のポジティブリスト管理への対応等も重点活動として取組んでまいります。

本年は渋沢栄一翁によって抄紙会社が設立され、近代製紙業が興ってから150年を迎えます。この150年の間、当業界は常に時代の要請に応え、循環資源である木材から様々な紙・板紙製品を開発し、社会や文化の発展に貢献してまいりました。今後サステナブルな社会を目指す中、当産業の果たす社会的役割は益々重要になっていくと考えています。経営環境の厳しい状況が続きますが、各社が経営課題の解決や変革に取組み、成長軌道に乗せることで、本年が製紙産業の新たな一步を刻む良い年となることを祈念しています。

最後になりますが、関係各位の今年1年のご健勝、ご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年 頭 所 感



公益財団法人古紙再生促進センター
代表理事 長谷川 一郎

令和5年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年の我が国経済におきましては、春先以降は、ウィズコロナの下、社会経済活動の正常化が進みつつあり、サービス消費を中心に回復の動きがみられております。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加え、円安の影響等によるエネルギーや食料品等の価格上昇が国民生活・事業活動に大きな影響を及ぼしています。また、世界規模の物価高騰がみられる中、各国・地域における金融引締めの影響などから世界的な景気後退懸念が高まっております。

こうした状況において、岸田政権は、昨年10月に事業規模総額で7.2兆円となる物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策を策定し、GDPを4.6%押し上げることや消費者物価指数を1.2%以上引き下げることなどを目指した大規模な財政政策を閣議決定したところです。

さて、製紙業界を振り返りますと、デジタル化やコロナ禍等の影響による新聞やチラシなどの紙の需要減を受け、令和2年において、板紙の生産が紙の生産を逆転して以来、この傾向が一層顕著になっています。

古紙を取り巻く状況を見ますと、一昨年の夏前までは、国内古紙は余剰傾向にありましたが、それ以降、コロナ禍や天候不順の影響を受け、古紙の発生や回収が低調に推移し、国内の古紙在庫も減少傾向となっています。かかる状況において、昨年1月～10月までの古紙回収量は、一昨年比2.4%減となる約1,490万トンに留まっております。このままで推移しますと、最終的な古紙回収量は昨年1年間で1,800万トン程度となり、一昨年に比べ、

50万トン弱減少する見通しであります。

センターとしましては、社会経済活動が早期に正常化し、古紙の発生や回収が回復することを願うとともに、持続的な紙リサイクルシステムの維持・向上のため、今まで以上に需給両業界と協力し、適切に対処していきたいと存じます。

ご高承のとおり、我が国の令和4年1月～10月までの古紙回収率は79.8%、古紙利用率は66.3%と高いレベルを維持しています。

一方、資源有効利用促進法に基づく古紙利用率の目標は、令和7年度において65%とされており、私ども、センターとしましては、古紙利用率が既に達成水準にあっても、これまで以上に、古紙利用率の更なる向上を図るため未回収古紙の掘り起こし等の取り組みを促進することが重要です。

このような古紙回収や利用率向上への取り組みによって、我が国の紙リサイクルシステムは、持続可能な資源の有効利用を通して、SDGsという大きな枠組みに直結していることを改めて認識し、諸活動を推進していきたいと考えております。

こうした中、当センターは令和6年に、関係省庁や自治体、需給両業界などの関係者の皆様のご協力もあって、創立50周年という大きな節目を迎えます。この50周年に当たり、次の時代を見据えて中長期的な課題整理に向けた検討を昨年より開始いたしました。本年以降は、紙リサイクルに関わるステークホルダーの方々とのコミュニケーション強化を図り、適切に情報交換を行いつつ、今後の様々な社会動向に適応する持続可能な紙リサイクルシステムの在り方や課題について、中長期をイメージした共通ビジョンや認識を構築してまいります。

本年も製紙業界、古紙業界にとって大変厳しい状況が続くかと思われませんが、需給両業界の皆様におかれましては、当センターを討議の場として活用していただき、我が国の紙リサイクルの維持・発展に向けて叡智を結集していただきと存じます。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして、希望に満ちた明るい年になりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感



北海道製紙原料直納商業組合
理事長 長谷川 裕一

新年明けましておめでとうございます。

皆様の健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻して世界に大きな衝撃となってから1年になろうとしています。

当初は軍事面でロシアが圧倒的に有利との見方もありましたが、欧米各国の軍備支援などからウクライナ軍の徹底抗戦により寧ろロシア軍の苦戦が強いられている状況となっている様です。

しかし、この軍事侵攻に伴いエネルギー価格の高騰で世界経済に深刻な打撃となり私達、日本も例外ではなく物価が高騰し国民生活は厳しさが増している状況ですので、とにかく少しでも早い終戦を願うばかりです。

3年間に及ぶ新型コロナウイルスの感染状況ですが6波、7波そして8波と感染の波は繰り返す状況です。

世界的には感染防止対策し経済を廻していく方針になりつつある状況ですがいまだ重症化し死に至る状況ですので早期に有効な処方薬の実用化の承認も急ぐ必要があると考えます。

岸田新政権が打ち出している新しい資本主義の下で持続可能な経済から成長と分配の実現も未だに見通すことも出きません、日本の総理大臣として国民からの信頼を得る為にも強いリーダーシップにて国の舵取りに期待したいものです。

日本の紙パルプ業界は新型コロナウイルスの

感染で落ち込む中でも徐々に回復傾向にありましたが、ロシアのウクライナへの軍事侵攻でエネルギー価格の高騰が長期となり、各製紙メーカーの収益悪化は深刻な状況となっております。

世界的に紙の需要は落ち込んでいますが、今後、業界として紙の活用についてはもっと幅広い面から研究、開発が必要と考えます。

北海道の令和4年上期の発生状況は前年比新聞92.3%、段ボール100.1%、雑誌90.0%、その他95.3%で合計29万7千tの90.0%でした。消費については全体で56万6千tの93.7%となりました。

昨年は組合活動もコロナ前に戻る状況にありましたが年末からの8波となる感染者の増加で一昨年同様限定的な活動になりました。今後は4回、5回のワクチン接種の効果も期待しながら、今年は組合各社とリアル会合がフルで出来ることと、組合としてカーボンニュートラルを目指したSDGsの取り組みを始めています。

当組合員各社は環境関連事業の一端を担っている訳ですから今年は北海道の各地域と連携し循環型社会（紙のリサイクル）に関する教宣活動など、持続可能な開発目標を定め組合活動も実施していければと思っております。

もう少し厳しい経済環境は続くと思いますがその先には希望の持てる社会があると思うのも良いのではないのでしょうか。

それでは、皆様にとってより良い年になることご祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感



東北製紙原料直納協同組合
理事長 鈴木 隆男

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

常日頃より、当組合に対し格別の御理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は前年に引き続いての新型コロナウイルス感染拡大により世界経済に大打撃を与えたばかりでなく、ロシア・ウクライナ問題の長期化により世界全体に資源高・燃料の高騰・予想を絶する電気料金の値上げ。更には為替の大幅円安など、ウィズコロナにより人の流れが出てきたにも関わらず日本経済は停滞するばかりでありました。

中国のゼロコロナ政策により我々業界にも多大な悪影響が顕著化してきました。昨年も前年までと変わらずに経営的にも精神的にも疲労困憊の1年でありました。

反面、スポーツにおいては明るい話題もありました。東北地区においては夏の高校球児による深紅の大優勝旗が100年以上の刻を経て東北の地へ渡ってきました。

年末には惜しくもベスト8への夢は叶いませんでしたが、強豪国のドイツ・スペインに勝利したW杯サッカーの日本代表。東北地区民のみならず日本全国民に大きな感動と勇気を与えてくれました。コロナ・コロナで疲弊した心に立ち上がる気力・勇気を頂きました。改めてスポーツの素晴らしさを確認出来ました。

さて、今年の干支、壬辛丑は、古きことに悩

みながらも終わりを告げ、新しき芽生えを見いだす年であると云われました。果たして現実はどうだったでしょうか。コロナ禍が収束したとしても元に戻ることはない。この思いは誰しもが認める事が出来た一年であったでしょう。

今年の干支は「癸卯」（みずのとう）であります。これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われております。今年一年が量的拡大路線からの脱却し、「競争」の時代から「共創」の時代形成へとウサギのように大きく跳ね上がる年となることを切に願って止みません。

東北協組としては組合員同士が切磋琢磨し、価格競争ではなく品質競争のような適切な競争の中で経営を充実させ、新たなる業界を共創してゆければと願っております。

業界が直面するSDGsや雑紙案件など様々な課題解決や今後のあるべき姿にむけた組合員一丸となった取組が必要です。古紙品質の向上になお一層励み、全国製紙原料協同組合連合会・古紙再生促進センターとも連携を図りながら、さらにリサイクルシステム活動の継続を推進していきたいと思っております。

何卒関係各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。最後になりますが今年こそは全ての各種大会が皆様の体温を感じる型式での開催が出来ることを願い、新年の挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感



関東製紙原料直納商工組合
理事長 大久保 信隆

新春にあたって

皆さん令和5年の輝かしい新しい年を迎えておめでとうございます。

令和が始まり「初春の令月にして、気淑(きよ)く風和ぐ。梅は鏡前(きょうぜん)の粉(ふん)を披(ひら)き、蘭(らん)は珮後(はいご)の香(こう)を薫(くゆ)らす」のように穏やかに静かに行くところを3年前からコロナウイルスのパンデミックが起り、あらゆる面で活動が制約されました。ワクチン接種とお医者さんの献身的な努力と国民の理解と協力、それぞれの分野の工夫によって今日まで来ました。いま日本は第8波に入ったと言われておりインフルエンザも流行りそうです。私たちは今年も頑張っってウィズコロナの収束を祈念しましょう。

昨年世界を驚かせた大きな問題は2月24日に起こったロシアによるウクライナ侵攻です。エネルギー不足、物流の混乱、食料不安が起り、欧米をはじめとする多くの国でインフレが進み、大幅な金利引き上げが進んでいます。日本では円安が進み物価の上昇を招いております。このような中、お隣の北朝鮮は繰り返しミサイルを打って我が国を威圧しております。中国は習近平国家主席の独裁体制が強化され台湾問題が深刻化しております。そんな中、岸田政権の人気は下がっていますが、防衛予算は国内総生産の2%となりました。防衛は大事ですが平和を目指す外交が最優先です。これからもずっと安心して安全な年なる事を期待します。是非とも日本の政治家に頑張っっていただきたいと

思います。

年末には製紙各社の打ち出した製品値上げが通ったようで良かったと思います。わが古紙業界も電力、ガソリン価格、番線の高騰、産業機器とトラック不足と運転手不足による従業員の高齢化等経費が鰻登りです。現在古紙の発生が少ない中、販売価格はプレミアム価格と「無い物」価格によって混乱が起っております。今年は経営の安定に向け適正価格で交渉ができる体制を作っていきます。

古紙の商売は長年サステナブルに営まれておりリサイクルの優等生と言われてきました。それは回収率が高かったのと集団回収など住民の協力があったからですが、皆一所懸命回収しているからでもあります。昨年9月の回収率は6か月ぶりに80%を割り、回収率76.5%、利用率は65.8%と大きく報道されました。回収業界がさぼっているように見えるお叱りの報道です。回収率が下がった要因は段ボール原紙の輸出量が去年の倍になったからです。今後紙の生産は年々減少する中では、製品の輸出が増えると回収率が下がることを頭に入れておいてください。

これから我々はSDGsを頭に入れて仕事をすすんで、環境と経済の両立を目指して行くのですが、市民の皆様には従前からの集団回収と紙の分別をしっかりと協力をお願いいたします。

最後に今年も組合活動に一層の協力と各社の発展と安全第一をご祈念申し上げます。

年 頭 所 感



東京都製紙原料協同組合
理事長 上田 晴健

新年明けましておめでとうございます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻という暴挙がありました。ロシア、ウクライナ両軍の死傷者数は20万人を超えているとも言われています。痛ましい侵略戦争が早く終結することを願うばかりです。

この戦争が世界に与えた影響は大きく世界的なインフレが続いています。米国のインフレ抑制政策に伴う金利引き上げにより、昨春より急速な円安が進み、日本でも物価高が国民の生活を脅かしております。

またコロナ禍は3年を数えウィズコロナと言う新しい生活様式も定着しつつあります。リモートワークも定着し、時間の使い方にも変化が生まれてきております。この変化が紙・板紙の需要にも大きく影響を与えております。

洋紙需要について

洋紙の生産は年々減少の一途をたどり、コロナ禍により、さらに加速した感があります。

商業印刷や出版・印刷・製本業界の落ち込みは常態化し改善の兆しは見られません。さらなる落ち込みも懸念されております。上物古紙の発生減により仕入れ競争が起こり一部では過度な高値が散見されていると聞いております。冷静な対応で、不必要な競争は避けるべきです。

回収機能の崩壊を防ぐため回収業界、問屋、製紙業界が一体となり対応策を検討する必要があります。持続可能なリサイクル推進のため当組合も皆様方と共に対策を考えていきたいと思っております。

板紙・段ボール需要について

一時落ち込んでいた板紙・段ボール需要は回復傾向にありましたが、ロシアのウクライナ侵攻で景気の先行きは不透明となりました。段ボールにおいては昨年前半、堅調に推移しておりましたが、後半からは世界的な景気後退のため、やや停滞期に入り減産模様となりました。

板紙においてはインバウンド客や国内旅行に関しても回復傾向にあります。洋紙に比べプラス要因があるのは大いに期待できると思います。

環境問題が世界の重要課題となる中、古紙においては元々しっかりとリサイクルされる仕組みが確立しております。この仕組みを壊さぬよう業界が利益を上げリサイクル事業を継続することが重要です。本年が皆様方にとっても実り多い一年となることをお祈り申し上げて、年頭の挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感



静岡県製紙原料商業組合
理事長 菊池 初彦

新年を迎え、皆様方に謹んでご挨拶を申し上げます。

政府は、2023年度当初の予算案は一般会計の歳出総額は過去最大の114兆円前半で調整をしています。積極的な財政運営を希望したいものです。

私達の製紙原料界は相変わらず先の見えない状況になっております。経済産業省は、紙のリサイクルを促進していくためには消費者、地方自治体、回収業者や製造事業者等の幅広い関係者が一体となったりサイクルに取り組む必要があるとし、関係者に協力依頼がなされています。

紙リサイクルの基本は古紙品質の維持・向上であるとして、排出先における分別の強化・禁忌品の除去、流通段階での選別の徹底、古紙回収量・回収率と古紙消費量・利用率の向上を図ることが大切です。国内発生量は、依然として国内使用量を上回る状況が続いており、輸出に頼らなければ古紙需給の安定が図れない状況に変わりはありません。

一番の輸出国であった中国が、環境規制を強化する政府当局の方針で海外からの古紙の輸入を制限しており、今後の動きも流動的であります。そんな中、その対策として他地区では、東南アジア諸国に輸出することを進めております

が、こちらの動きも不透明であります。

静岡地区という独特な地域の私たちにとりましては、今後の会社経営として十分な配慮が肝要であります。そのためにも製紙メーカー様との信頼関係をより構築しなければならないと思います。

また今後の古紙状況に対応するために未来を担う子供たちへの教育も必要です。私達静岡商組として今、リサイクルへの理解を深め、資源循環型社会の実現に向けて再資源化のための必要性と理解を学ぶため、小学校4～5年生を対象に静岡県内において出前講座を進めております。

昨年はコロナ禍の中、県内で14校実施いたしました。全国の中でも(公財)古紙センター本部の指導のもとにこれだけ積極的に活動しているのは私たち会員の努力の賜物と思っています。

この活動をより効果のあるものにするためには製紙メーカーの皆様のご協力が必要不可欠であります。来年には当組合結成60周年を迎えます。

最後に皆様のご繁栄とご発展と、そしてご家族様や社員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

年 頭 所 感



中部製紙原料商工組合
理事長 石川 喜一郎

明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナのワクチン接種が進み、世界経済はコロナ危機から回復に向かっていましたが、ロシアによるウクライナ侵攻により、世界が分断され経済的にも不透明で不確実な状況が続いています。更に気候変動の影響もあり、エネルギー価格や食料などの物価が大幅に上昇し、米国やEUではインフレを抑制するため政策金利を引き上げるなどの対策が取られたものの景気も抑制することになり、世界同時不況が懸念されています。

日本では、政策金利が据え置かれた結果、円安が進み更に物価が上昇し、経済的に厳しい状況となっております。製紙業界においても同様にエネルギー価格等の上昇に対応するため原紙等製品の値上げが打ち出されました。

古紙業界については、コロナの影響によるデジタル化の推進や少子高齢化という構造的な問題もあり紙の需要が減少し、古紙の発生も減少し、扱い量も減少しています。一方で円安が進み古紙や原紙での輸出が継続できたため、古紙の需給はタイトな状況が続いた一年でした。

今後を考えると世界的に段ボール原紙の増産が計画されている中、古紙の発生減少によって古紙の調達に苦慮することが予想されます。

昨年の全原連総会にて雑がみ利用促進検討委員会の報告をさせて頂きました。アンケート結果によると自治体は、ごみ減量のため雑がみの

回収を拡大・維持したいとの回答が93.5%でした。古紙の発生減少を緩やかにするためにも、自治体と協力しSDGs目標12「つかう責任＝分別排出」を利用して雑がみの品質を維持向上させ、製紙原料になる古紙を紙ゴミから掘り起こす必要があります。

また古紙の定義は、製紙原料になるものであり専ら物です。分別（品質）を社会に伝えることが古紙業界の既得権を守ることになり利益に繋がります。製紙業界にとっても品質が安定し利益に繋がります。古紙の品質を維持できれば利用促進に繋がります。紙ゴミの減量が進み社会の利益に資することになりESG経営やSDGsの理念と同様の「三方良し」となります。正しく社会の課題を解決することに繋がります。サーキュラーエコノミーにも寄与します。

更に製紙業界のサプライチェーンである古紙業界にできることは、紙100%の素材である商品を排出先からリサイクルし、燃やさないよう協力することです。そして紙リサイクルシステムを維持するために、小中学校への出前授業等で次世代への学びを支え分別文化を守り、インフラとしての価値を社会に提供し評価して頂くことです。

最後になりましたが、目先の損得ではなく時代の変化に適応した経営ができる環境を整えるのが組合の役割です。SDGsを活用して変革の時代を乗り越え、より良い業界へ発展するとともに、本年も皆様の益々のご発展ご健勝を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感



近畿製紙原料直納商工組合
理事長 矢倉 義弘

2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新たな変異株による新型コロナウイルス感染拡大に加え、ロシアのウクライナ侵攻、急速なドル高・円安、世界的なインフレといった予想もしなかった出来事が各国の社会・経済情勢に大きく影響を与えた1年でした。

新型コロナウイルスが日本に上陸してから早や3年近く経過しましたが、その間、落ち着いたかに見えたのも束の間、感染力の強い変異株が出るたびに感染拡大の波を繰り返し、昨年末からは第8波とも言える様相を呈しています。

最近、重症化率が低下したこともあり、流行初期のような不安感や戸惑いは少なくなりましたが、収束の兆しは一向に見えません。このように次々と変異しながら拡大を続ける新型コロナウイルスは非常に厄介な感染体です。

ウイルスという微生物は地球上に生命が誕生した頃から存在する、もっとも原始的かつ強力な病原体であり、人類の歴史の中で、様々なウイルス感染症の猛威にさらされてきました。かつてのワクチンのない時代では、人類は自身の体力や免疫力で打ち勝つしかなかったのが、多くの犠牲者を出しながら何年もかけてパンデミックを克服してきました。

それを考えると、人類の歴史はウイルス感染症との闘いの歴史であったと言えます。その後医学が進歩してワクチンが開発されるようにな

り、今回の新型コロナウイルス感染症においてもワクチン接種が進んだことで、大局的に見れば沈静化に向かっているように思われます。

一方、古紙業界に目を向けますと、社会・経済活動の回復に伴い、古紙の発生量も回復してきたことは非常に喜ばしいことです。ただ、印刷・情報用紙や新聞用紙などは、人口減少、少子高齢化、ICT化、ペーパーレス化など需要構造の変化によって年々需要が落ち込んでいる上、コロナ禍によってその動きが加速し、洋紙系古紙の発生量は大きく減少しています。

唯一、包装資材としての段ボール原紙や白板紙などは社会・経済活動の回復やEC市場の拡大により増加傾向にあり、板紙系古紙の発生量も堅調に推移しています。ただ、印刷会社や紙器工場などから排出される産業古紙の減少が顕著で、トータルの発生量が減少しているため、常に取扱量の減少に悩まされているのが実情です。

このような環境下で古紙問屋の経営を継続するためには、取扱量の減少分を補うだけの利幅を確保する必要があります。そのためにも、無理な価格競争は避けて共存共栄を図るべく、組合員の皆様と一致団結してこの難局に立ち向かっていきたいと考えています。

2023年が古紙業界のさらなる飛躍の年となるよう祈念し、新年の挨拶にとさせていただきます。

年 頭 所 感



大阪府紙料協同組合
理事長 須田 充訓

新年、明けましておめでとうございます。新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

ウイズコロナで3年の月日が経とうとしていますが緊迫感が薄れつつも、まだまだ対応に振り回され、かつ感染者数の増減が懸念継続のままの一年が過ぎました。また昨年は予想外の戦争と、エネルギー、原油、資源の高騰、そして極端な円安が進みました。ウクライナ戦争の終結はまだ見えない状況ですが、台湾有事問題や常態化した北朝鮮のミサイルの発射など、我々の身近での真に緊迫のボルテージが上がる状況に危惧する近未来になりました。

円安は慢性的な日本の貿易赤字、相対的日本経済の低迷というベースの上に、USAと日本との金利差があまりにも開いた為に起こっています。米国債10年利回りも年初に約1.5%だったものが11月時点では4.2%と大幅な上昇となり、ゼロ金利政策実行中の「円」離れが進み、年初1ドル115円レベルのものが一時は150円を超えるまでになりました。今では円安が当たり前のような感さえありますが、本来の日本の経済実力がどれほどなのか、劇的に変化する世界情勢とともに恐懼するばかりです。

翻って古紙業界の状況を振り返ってみればこの数年来のトレンドでもあるが、総括的に激しく変化する年でもありました。円安の恩恵があり輸出価格も日本の古紙にはメリットが出る状況であったが、古紙の発生そのものはこの15年で縮小フェーズになり、デジタル化等による洋紙離れ基調に、コロナ禍で洋紙の生産/消費

縮小に比例して雑誌、新聞、家庭紙原料の発生はシュリンクし、その需給バランスの崩れが年の後半には顕在化した感があります。ペーパーレスの状況は変わらないままであろう近未来は古紙不足の状況になる可能性が高いと個人的には予想します。世界経済次第にもよりますが世界の消費者の購買指向を考えれば段ボール需要の増加は続く予測できることから、段ボール古紙も今は需要低迷期にあり荷余り感もあるが、不足基調のベクトルであることも個人的に予想します。私たち昭和世代は『紙は文化のパロメーター』だと聞かされました。事実、経済成長とともに紙産業の成長がありました。しかしそれが世界的に確実に崩れた中で、どこかに成長している産業だという思いこみが残っている気がする昭和世代感覚を払拭していかなければなりません。紙産業、古紙業界は確実にシュリンクしている現実、決して減んでいくことのない産業だが、今までとは違う手法が必要かもしれません。SDGsのもとで社会的責任が求められる、脱炭素社会、循環型社会、自然との共生などのキーワードに対し、どう対応していくかを問われる時代でもあります。今までは古紙のリサイクルは地球環境に貢献していると情緒的に訴えてきたが、社会が求める環境貢献度はCO₂の削減量という数字で測られる時がくることも予想されます。科学的エビデンス、理論武装等の準備も必要かもしれません。

理事長職においては新参者で不安しかない私ですが、本年も関係先の皆様方の御健勝と御発展、新型コロナウイルス感染症の終息を祈念し、また今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

年 頭 所 感



兵庫県製紙原料直納協同組合
理事長 仲 清次郎

令和5年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は何かと組合活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、コロナウイルス感染から4年目を迎えて、ようやく規制が解除され、コロナ禍前の経済活動に戻りました。この間、世界は大きく変わりました。ロシアとウクライナの戦争によるエネルギー（石炭、ガス、電気）などの高騰によりヨーロッパ諸国の製紙メーカーは操業が出来ず、古紙がインド経由東南アジアに流れました。

また中国の習近平氏の政策のまずさ（不動産政策の不備、ゼロコロナ政策の長期化）から世界経済がインフレに苦しむなど、そしてアメリカの金利政策（6回に渡る金利引き上げ）により、日本国内の円安の影響から国内の古紙業界が大きく影響をうけ、働き方改革を始め、洋紙マシンから段ボール原紙マシン転用（約70万トン増産）するなど、原紙輸出のウエイトが増え、国内の古紙回収量が2007年2332万トンをピークに減りつづけています。

このように古紙の回収環境が大きく変化し始めました。

目まぐるしく変わる中において我々、兵庫県製紙原料直納商工組合では原点に戻り常に市民の目線にたって効率よく資源回収が出しやすく、また行政（神戸市環境局業務課）においてもゴミを減らし、資源活用に協力を引き出し、そして業者の立場でどのように回収して採算に乗せるかを考え、月に1回組合で神戸市と話し合いを持ちながら回収増にするために地道な努力をつみ重ねています。

これからは古紙業界もICT（情報通信技術）活用して経営基盤の強化と経営革新を推進することがもめられています。あらゆるモノがネットにつながりIoT（モノのインターネット）また5G時代へと進まなければならないと同時にきめ細かい営業視点が求められるのではないのでしょうか。

今年は時代の変化にしっかり対応し、コロナ対策も万全にしつつ皆様には重ねてご支援ご協力ご理解お願い申し上げます年頭の挨拶とさせていただきます。本年も宜しく願いたします。

年 頭 所 感



中国地区製紙原料直納商工組合
理事長 小六 信和

160万トンのざつ紙

新年明けましておめでとうございます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて昨年全原連ではざつ紙利用促進検討委員会が開催され、調査の結果未だに可燃ゴミで処分されているざつ紙が、全国で160万トンあると推計されました。

私は個人的に「紙はゴミじゃない!!」と言って出前授業を行っていますが、まだまだこんなに大量のざつ紙が捨てられているわけで、もっともっと組織的にざつ紙の回収と利用促進をやっていかねばならないと思います。

おりしも最近SDGsが叫ばれ始め、つい先日もCOP27が閉幕しましたが、ざつ紙の回収促進と可燃ゴミの減量は何が何でも実行していく必要があります、この件に関しては当然我々古紙業界と製紙業界に多くが期待されることとなるし、「作る責任 使う責任」という部分においても我々の使命と言わざるを得ない課題ではないでしょうか？

そこで今年はずばい古紙センターがコーディネーターとなり、全原連と製紙連合会の両方で、ざつ紙の回収並びに利用促進に取り組むための施策を行うことを期待します。

そのためにはまずざつ紙の立ち位置を、需給両業界で意思統一する必要があると思いますが、すでに古紙業界と多くの行政ではざつ紙は雑誌に混ぜて回収する習慣が根付いているため、今後もざつ紙は雑誌と混ざって回収される

こととなり、従って古紙センターの古紙分類も改定する必要があるのではないのでしょうか？

そして利用する製紙業界もメーカー間での温度差なく、雑誌にはざつ紙が混じっていることを理解したうえで、利用の推進を検討していただきたいと思います。

一部のメーカーでは難処理古紙を率先垂範して利用しようという動きがありますが、今後のざつ紙の利用促進とSDGs経営を考えるならば、国内メーカー全てでざつ紙を嫌うことなく利用できるような原質設備補強をお願いしたうえで、160万トンのざつ紙を掘り起こし、昨今問題となっている雑誌古紙不足を補う手立てにも利用していただきたいと切望します。

また我々古紙業界も160万トンの量があれば当面の古紙発生不足を補えるとともに、SDGs経営という観点からも一石二鳥となるのではないのでしょうか。

具体的に言えば製紙連合会と全原連、そして古紙センターが資金を出し合って、日本中の新聞紙面に「ざつ紙回収のお願い」という内容の記事を掲載したり、TVコマーシャルを行うなど、需給両業界が力を合わせて国民にPRしていけるような一年になったらどんなに嬉しいことか！

ごく一部の人間が「紙はゴミじゃない!」と出前授業を行ったところでたかが知れていますが、製紙業界と古紙業界が一致団結してざつ紙の回収と利用促進に邁進する、キックオフの一年になってくれることを切望して止みません。

以上、各業界の方々のご高配がいただけましたら幸いです。

よろしく願いいたします。

年 頭 所 感



九州製紙原料直納商工組合
理事長 岩淵 慶太

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻があり、これに伴い大幅な原燃料費の高騰や円安状態が発生しました。その影響は我々の生活にも光熱費や様々な物価の高騰という形で重くのしかかってきております。

古紙業界でも影響は出てきております。例えば、車両費及び燃料費の高騰による回収コスト増加や、労働人口の減少に伴う他業種との労働力の奪い合いによる人件費の上昇があげられ、これらへの対策が喫緊の課題となっております。

このような情勢の中、私としては【コストアップ分を販売価格に転嫁出来ない事】が、古紙業界が抱える問題の一つであると考えております。2017年7月以降、裾物3品の価格は変わっておりません。輸出価格が上回る時のみ上乘せ価格があるだけで、給与でいうところのベースアップが全くなされておりません。

古紙の全体的な発生量は落ち込みの一途をたどっており、安定した製紙メーカーへの供給も難しくなりつつあります。この状況が続けば

サイクルシステムに支障をきたす恐れも考えられるため、早急に対策を打っていく必要があるのではないかと強く感じております。

また、今年はSDGsという言葉をあらゆるシーンで耳にするようになりました。弊社においても「4. 質の高い教育をみんなに」や「12. つくる責任つかう責任」と関連した取り組みを進めておりますが、さらなる取り組みができないかを日々模索しております。

古紙業界でも既に取り組みされている企業・団体様やこれから取り組まれる企業・団体様等、取り組みの進捗は様々ですが、業界全体としても手を取り合い、リサイクルシステムを堅持するための取り組みを進めていく必要があると感じております。

そのための一つとして、私共の取り組みを多くの方に認識いただき、活動への理解・協力を得られるようにSNS等を活用した情報発信が重要ではないかと考えております。

結びになりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



特集 I

職場における パワーハラスメントとは

寄稿

株式会社丸十商店 顧問 社会保険労務士

僕たちの若い頃、今から「30年以上」前は
まだ「パワーハラスメント」という言葉は無
かった時代です。「バカヤロー」、「コノヤロー」
が普通に飛び交っていた中で仕事をしていた

た。その時は、なんとも思っていなかったの
ですが今では「アウト」になってしまいます。そ
うならないように、特集記事の中に例文があり
ますので参考にさせていただければと思います。

職場におけるパワーハラスメントとは

2019年に改正された労働施策総合推進法に
おいて、職場におけるパワーハラスメントにつ
いて事業主に防止措置を講じることを義務付け

ています。併せて、事業主に相談したこと等を
理由とする不利益取扱いも禁止されています。

< 労働施策総合推進法（抄） >

（雇用管理上の措置法等）

第30条の2 事業主は、職場において行われる優越的な関係を背景とした言動であって、
業務上必要かつ相当な範囲を超えたものによりその雇用する労働者の就業環境が害される
ことのないよう、当該労働者からの相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備
その他の雇用管理上必要な措置を講じなければならない。

2 事業主は、労働者が前項の相談を行ったこと又は事業主による当該相談への対応に協力
した際に事実を述べたことを理由として、当該労働者に対して解雇その他不利益な取扱い
をしてはならない。

職場におけるパワーハラスメントは、職場において行われる

- ① 優越的な関係を背景とした言動であって、
- ② 業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、
- ③ 労働者の就業環境が害されるもの

「職場」とは

事業主が雇用する労働者が業務を遂行する場所を指し、労働者が通常就業している場所以外の場所であっても、労働者が業務を遂行する場所であれば「職場」に含まれます。

勤務時間外の「懇親の場」、社員寮や通勤中

であり、①から③までの3つの要素を全て満たすものをいいます。

なお、客観的にみて、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については、職場におけるパワーハラスメントには該当しません。

などであっても、実質上職務の延長と考えられるものは「職場」に該当しますが、その判断に当たっては、職務との関連性、参加者、参加や対応が強制的か任意かといったことを考慮して個別に行う必要があります。

「労働者」とは

正規雇用労働者のみならず、パートタイム労働者、契約社員などいわゆる非正規雇用労働者を含む、事業主が雇用する全ての労働者をいいます。

また、派遣労働者については、派遣元事業主のみならず、労働者派遣の役務の提供を受ける者（派遣先事業主）も、自ら雇用する労働者と同様に、措置を講ずる必要があります。

職場におけるパワーハラスメントの内容

職場におけるパワーハラスメントは、以下の①から③までの3つの要素を全て満たすものをいい、客観的にみて、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については該当しません。

① 「優越的な関係を背景とした」言動とは業務を遂行するに当たって、当該言動を受ける労働者が行為者とされる者（以下「行為者」という。）に対して抵抗や拒絶することができない蓋然性が高い関係を背景として行われるものを指します。

● 例

- ・ 職務上の地位が上位の者による言動
- ・ 同僚又は部下による言動で、当該言動を行う者が業務上必要な知識や豊富な経験を有しており、当該者の協力を得なければ業務の円滑な遂行を行うことが困難であるもの
- ・ 同僚又は部下からの集団による行為で、これに抵抗又は拒絶することが困難であるもの

② 「業務上必要かつ相当な範囲を超えた」 言動とは

社会通念に照らし、当該言動が明らかに当該事業主の業務上必要性がない、又はその態様が相当でないものを指します。

● 例

- ・ 業務上明らかに必要性のない言動
- ・ 業務の目的を大きく逸脱した言動
- ・ 業務を遂行するための手段として不適当な言動
- ・ 当該行為の回数、行為者の数等、その態様や手段が社会通念に照らして許容される範囲を超える言動

この判断に当たっては、様々な要素（当該言動の目的、当該言動を受けた労働者の問題行動の有無や内容・程度を含む当該言動が行われた経緯や状況、業種・業態、業務の内容・性質、当該言動の態様・頻度・継続性、労働者の属性や心身の状況（行為者の関係性等）を総合的に考慮することが適当です。

その際には、個別の事案における労働者の行動が問題となる場合は、その内容・程度とそれに対する指導の態様等の相対的な関係性が重要な要素となることについても留意が必要です。なお、労働者に問題行動があった場合であっても、人格を否定するような言動など業務上必要かつ相当な範囲を超えた言動がなされれば、当然、職場におけるパワーハラスメントに当たり得ます。

③ 「就業環境が害される」とは

当該言動により、労働者が身体的又は精神的に苦痛を与えられ、就業環境が不快なものとなったために能力の発揮に重大な悪影響が生じる等の当該労働者が就業する上で看過できない程度の支障が生じることを指します。

この判断に当たっては、「平均的な労働者の感じ方」、すなわち、「同様の状況で当該言動を受けた場合に、社会一般の労働者が、就業する上で看過できない程度の支障が生じたと感じるような言動であるかどうか」を基準とすることが適当です。

なお、言動の頻度や継続性は考慮されますが、強い身体的又は精神苦痛を与える態様の言動の場合は、1回でも就業環境を害する場合があります。



パワーハラスメントに該当すると考えられる例 / しないと考えられる例

●職場におけるパワーハラスメントの状況は多様ですが、代表的な言動の類型としては以下の6つの類型があり、類型ごとに典型的にパワーハラスメントに該当し、又はしないと考えられる例としては以下のようなものがあります。

※これらの例は限定列举ではありません。また個別の事案の状況等によって判断が異なることもありえますので、事業主の方は十分留意して、職場におけるパワーハラスメントに該当するか微妙なものも含め広く相談に対応するなど適切な対応をお願いします。

なお、以下の例については、優越的な関係を背景として行われたものであることが前提です。

代表的な言動の類型	(イ) 該当すると考えられる例※	(ロ) 該当しないと考えられる例※
(1) 身体的な攻撃 (暴行・傷害)	①殴打、足蹴りを行う ②相手に物を投げつける	①誤ってぶつかる
(2) 精神的な攻撃 (脅迫・名誉棄損・侮辱・ひどい暴言)	①人格を否定するような言動を行う。相手の性的指向・性自認に関する侮辱的な言動を含む。(★1) ②業務の遂行に関する必要以上に長時間にわたる厳しい叱責を繰り返し行う ③他の労働者の面前における大声での威圧的な叱責を繰り返し行う ④相手の能力を否定し、罵倒するような内容の電子メール等を当該相手を含む複数の労働者宛に送信する	①遅刻など社会的ルールを欠いた言動が見られ、再三注意してもそれが改善されない労働者に対して一定程度強く注意をする ②その企業の業務の内容や性質等に照らして重大な問題行動を行った労働者に対して、一定程度強く注意をする
(3) 人間関係からの切り離し (隔離・仲間外し・無視)	①自身の意に沿わない労働者に対して、仕事を外し、長期間にわたり、別室に隔離したり、自宅研修させたりする ②一人の労働者に対して同僚が集団で無視をし、職場で孤立させる	①新規に採用した労働者を教育するために短期間集中的に別室で研修等の教育を実施する ②懲戒規定に基づき処分を受けた労働者に対し、通常の業務に復帰させるために、その前に、一時的に別室で必要な研修を受けさせる
(4) 過大な要求 (業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制・仕事の妨害)	①長期間にわたる、肉体的苦痛を伴う過酷な環境下での勤務に直接関係のない作業を命ずる ②新卒採用者に対し、必要な教育を行わないまま到底対応できないレベルの業績目標を課し、達成できなかったことに対し厳しく叱責する ③労働者に業務とは関係のない私的な雑用の処理を強制的に行わせる	①労働者を育成するために現状よりも少し高いレベルの業務を任せる ②業務の繁忙期に、業務上の必要性から、当該業務の担当に通常時よりも一定程度多い業務の処理を任せる
(5) 過少な要求 (業務上の合理性なく能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと)	①管理職である労働者を退職させるため、だれでも遂行可能な業務を行わせる ②気にいらぬ労働者に対して嫌がらせのために仕事を与えない	①労働者の能力に応じて、一定程度業務内容や業務量を軽減する
(6) 個の侵害 (私的なことに過度に立ち入ること)	①労働者を職場外でも継続的に監視したり、私物の写真撮影をしたりする ②労働者の性的指向・性自認や病歴、不妊治療等機微な個人情報について、当該労働者の了解得ずに他の労働者に暴露する(★2)	①労働者への配慮を目的として、労働者の家族の状況等についてヒアリングを行う ②労働者の了解を得て、当該労働者の機微な個人情報(左記)について、必要な範囲で人事労務部門の担当者に伝達し、配慮を促す

★1 相手の性的指向・性自認の如何は問いません。また、一見、特定の相手に対する言動ではないように見えても、実際には特定の相手に対して行われていると客観的に認められる言動は含まれます。

なお、性的指向・性自認以外の労働者の属性に関する侮辱的な言動も、職場におけるパワーハラスメントの3つの要素を満たす場合には、これに該当します。

★2 プライバシー保護の観点から、(6)(イ)②のように機微な個人情報を暴露することのないよう、労働者に周知・啓発する等の措置を講じることが必要です。



昨年11月7日、千葉銀行が主催する企業や自治体の脱炭素セミナー2022に、弊社の取り組みを発表する機会を頂戴しました。僭越ながら報告させていただきます。

事業からCSR Corporate Social Responsibility

企業の社会的責任としての脱炭素の取組が始まった経緯と、ある時やり始めて、それが一気にできたものではないこと。そして、CSRからCSV・ESGに移行していく様をお伝えします。

われわれの使命は何か

私は1968年生まれ54歳ですが、1980年代まで齋藤英次商店がリサイクルを行っている会社とは思っていませんでした。

そこにパラダイムシフトが訪れました。トリガーとなったのは、大量生産、大量消費、大量廃棄、廃棄物処分場の残余がない、ごみ問題でした。その対策として、1991年、資源有効利用促進法が施行されました。法律で回すリサイクルの始まりです。日本国内の製紙工場で消費される古紙の総量よりも多い古紙が回収されるまでになりました。

1996年から1998年に日本各地に古紙が利用できずに積み上がり、古紙の大余剰が起きました。価格は暴落です。

ある日、古紙を積んだ乗用車が来ました。古紙を引き取ってほしいと言いますが、私は、事情を説明してお断りしました。去り際に「ここはリサイクルする会社ではないのですか?」と言われたのです。私はこの言葉に打ち倒されました。

私たちはリサイクルをしている会社だと公言してきましたが、外部のステークホルダーの常識と異なるものであったと分かったのです。

今でも、いつ売れるのかわからない古紙が大量に積みあがります。相場が暴落すると赤字になります。これらは、リサイクルを続けてきた会社の宿命だと考えています。

何のためにおこなっているの? 使命だからで

す。1998年の後悔、ここはリサイクルする会社ではないのですか？これが、より重い責任を

ピーター・ドラッカーとマイケル・ポーター

ピーター・ファーディナンド・ドラッカー (Peter Ferdinand Drucker, 1909年～2005年) 現代経営学、マネジメントの発明者。ドラッカー先生は、経営者が第一に考えることは、われわれの使命は何か？われわれは、なぜこの仕事をおこなっているのか？なぜ事業をおこなっているのか？この事業をやることによってどんな貢献をしたいのか？を繰り返し考えることの重要性を説いています。

この答えを持たずに経営したら、単に会社を大きくしたい、利益を上げたい、ということだけになってしまい本当に良い仕事はできない。だから、ドラッカー先生は第一に使命を考えよ

基幹的分野の8つの目標

1. マーケティング
2. イノベーション
3. 人的資源
4. 資金
5. 物的資源
6. 生産性
7. 社会的責任
8. 必要条件としての利益



マイケル・ポーター (Michael Porter, 1947年～) 企業戦略や国際競争など、競争戦略に関する研究の第一人者として知られる。

マイケル・ポーター教授の提唱したCSV (Creating Shared Value) 共通価値の創造は、企業の事業を通じて社会的な課題を解決すること。「社会価値」と「企業価値」を両立させようとするものです。教授はCSV 3つの要素を上げています。この3つについて古紙に起きたことを、当てはめてみると、古紙業界はCSV

背負う動機となりました。

と教えます。しかし、この問いに答えることは本当に難しいのです。

事業を行うためには基幹的分野の8つの目標を設定する必要があります。目標は売上高や利益であってはダメで、8つの目標を立てて経営していくのですが、7番に社会的責任 CSR の目標があります。

これは、自分たちの行っていることが社会に対して、悪い影響となったり、環境に負担を掛けていたりすることはないか、それを軽減するにはどうするか、自分たちの専門性やもてる資源によって、社会に貢献できることは何かを考えることです。

CSV Creating Shared Value

1. 製品と市場を見直す
2. バリューチェーンの生産性を再定義する
3. 企業が拠点を置く地域を支援する産業クラスターをつくる



だということに気づきます。

(1) 製品と市場を見直す

このアプローチは、社会的な課題を解決する新しい商品やサービスを生み出すことにより、社会価値と企業価値の両立を図ろうとするもの。新しい市場を開拓したり、市場を拡大したりすることによって、両立を図ろうとするものです。

製紙工場は、より多くの古紙を消費するため

に、古紙高配合商品を開発したり、よりリサイクルしやすい商品を開発したりしました。古紙問屋は、台湾、韓国、タイ、中国などの市場を開拓して古紙を輸出しました。

(2) バリューチェーンの生産性を再定義する

このアプローチは、自社のバリューチェーンを見直すことにより、社会価値と企業価値の両立を図ろうとするものです。社会的な課題を解決すると同時に、コスト削減などの企業価値の創造が実現されることです。

製紙工場は、古紙を最優先に消費する。より多くの古紙を消費できる設備投資をする。古紙問屋は、売れる見込みがなくとも古紙を引き取る。古紙の循環を止めないこと。と再定義されました。古紙利用は、資源の有効活用そのものですし、古紙はバージンパルプと比べて製造工

程の熱消費量が3分の1と低コスト低炭素です。

(3) 企業が拠点を置く地域を支援する産業クラスター（集団）をつくる

このアプローチは、自社が企業価値を高めるため、企業の生産性やイノベーションに影響を与えるクラスターを形成することで、社会的な課題の解決を図ろうとすることです。

市民、事業者、古紙回収業、古紙問屋、製紙産業、古紙再生促進センターがクラスターを形成して古紙循環を拡大させてきました。

なぜ、クラスターができたのか。同じCSR、近いCSRを持った企業が集まったからです。企業はCSRからCSVに転換することができます。言い方と変えるとCSR企業の社会的責任が大きくなるとCSVに移行できないのです。

社員さんの内発的動機付け

斎藤英次商店の脱炭素の取組は、ドラッカー8つの目標のひとつ、社会的責任の目標から生まれました。2014年から毎年8月から10月の3か月間行っています。ミッション、ビジョンの実現について社員さんと何度も話し合い8つの目標を作り上げていきます。これを9年間続けています。

さらに2018年にブランディングを始めました。ブランド作りはデザイン会社にお願ひしました。デザイン会社は、社員にインタビューし、社員が持っている会社の印象からブランドをデザインしました。

ブランドステートメントとは、ブランドの「目指す姿」を具体的、情緒的かつ端的に表現したものです。「何かしなきゃを できてよかったに」これがブランドステートメントです。

ブランドパーソナリティとは、ブランドの人格、性格であり、ブランドが醸し出す「印象の基準」です。「知性とセンスで環境問題を解決

するスマートなりサイクルカンパニー」これをブランドパーソナリティとしています。

斎藤英次商店は何のために事業をしようとしているのか。論理的に伝えたり情緒的に伝えたり、こうした取り組みを継続していると社員さんが変わります。

脱炭素の取組は、内発的動機付けが必要です。社員さんの主体性です。2022年に再エネ電力に切り替えましたが、これは社員の提案でした。

ここからは斎藤英次商店のCO₂の排出量と削減量についてお話しします。

2021年度は1,459トン-CO₂の排出。2022年度は見込みですが、1,154トン-CO₂の排出量で前年比20.9%の削減になります。これは再エネ電力に切り替えた成果です。

2023年度は、2022年度比5%削減の目標を立てました。太陽光発電による自家発電・自家消費を実施する予定です。これにより全電力消

費量の3%を自家発電できるようになります。
 脱炭素に限らずESGに取り組んでいます。
 項目ごとに目標を立てました。2021年度からはサステナビリティレポートを公開していま

す。サステナビリティレポートも社員の発案で
 始まりました。すべて手作りです。ぜひご覧い
 ただけると嬉しく思います。

環境分野目標		KPI&目標値
1	古紙のリサイクルで資源循環に貢献する	古紙販売数量 175,000t以上
2	拠点内での太陽光発電を実施し、自家発電・自家消費する	全電力消費量の3%
3	エコドライブ等による燃料使用量削減（軽油・レギュラー・ハイオク）	販売量対燃料消費 前年比99%以下
4	スコープ1, 2のCO2排出量削減（燃料・電気・ガス・水道）	前年比95%
5	地域の環境美化に貢献する	環境美化活動参加人数 前年比100%以上
6	スコープ3の計測方法を確立する	1回
社会分野目標		KPI&目標値
6	ecoアカデミー（リサイクル教室）を開催し子供たちにリサイクルの楽しさを体験してもらう	開催回数 6回
7	地域で無くてはならない存在を目指す	定性10項目評価前年比増
ガバナンス分野目標		KPI&目標値
8	63期マテリアルフローを作成し、サステナビリティレポートに掲載する。	1回
9	非財務情報、経営情報を社外公開する	1回



2020-2021サステナビリティレポート
QRコード

まとめですが、使命・ミッションの実現を目指さなければ、単に売上高、利益を上げるだけの組織になってしまう。そして、使命の実現とともに社会的責任を果たす。

自分の市場において、自社のCSR社会的責任をより大きなものにするすることで、CSVに転

換していく。社会的責任を果たしていくと、同志が集まり、やがて産業クラスターを形成する。

脱炭素の取組は、社員さんの内発的動機付け。そのために、論理的なものや情緒的なものをいくつも取り組む。多くの時間を必要とするが、あきらめずに継続することです。

企業や自治体の脱炭素セミナー2022 ～脱炭素化を円滑に推進するためのポイント～

- 【日時】2022年11月7日
- 【会場】千葉銀行本店3階大ホール
- 【主催】(株)千葉銀行・千葉県・(株)ちばぎん総合研究所・ちばSDGs推進ネットワーク
- 【後援】(株)武蔵野銀行・(株)ぶぎん地域経済研究所・(株)横浜銀行・(株)浜銀総合研究所



全国製紙原料商工組合連合会 新年会

全国製紙原料商工組合連合会 新年会

平穏な古紙価格の推移に期待

リサイクルシステムの維持・発展へ

全国製紙原料商工組合連合会(以下「全原連」)は1月26日、東京・台東区の浅草ビューホテルで新年会を開いた。3年ぶりの開催となる。会は上田晴健副理事長(東京協組:三弘紙業)の司会で進行。開会の辞を石川喜一郎副理事長(中部商組:石川マテリアル)が述べた後、栗原正雄理事長(関東商組:栗原紙材)が挨拶した。

来賓を代表して、吉村一元 経済産業省製造産業局素材産業課課長、加来正年 日本製紙連合会会長、松原仁 衆議院議員(資源リサイクル推進議員連盟〈以下「リサイクル議連」〉事

務局長)が祝辞を述べた。乾杯の発声を長谷川一郎(公財)古紙再生促進センター理事長が行い、出席者は定刻まで歓談した。またアトラクションとして、地元浅草芸者衆による新春の舞が披露された。

中締めは岩淵慶太副理事長(九州商組:イワフチ)が述べ、出席者一同で万歳三唱を行った。その後、大久保信隆副理事長(関東商組:大久保)が閉会の辞を述べ、新年会は終了した。

以下に各氏の発言要旨を掲載します。

【開会の辞】



石川喜一郎 副理事長

古紙業界の強靱化を

新年会は3年ぶりの開催です。3年前を振り返ると、中国の固体廃棄物輸入規制で古紙が余剰になるのではない、問題になるのではないかと懸念していたが、状況は大きく変わってきた。社会も価値観が変わった。安くて良いものを追求するだけではなく、環境に良いものをサービスする、そこに価値があるという形に変化している。こうした中、古紙業界は製紙業界のサプライチェーンであり、強靱化を求められている。紙のリサイクルシステムを持続可能にすること、そしてSDGsを活用して発展することが古紙業界の課題だ。

と懸念していたが、状況は大きく変わってきた。社会も価値観が変わった。安くて良いものを追求するだけではなく、環境に良いものをサービスする、そこに価値があるという形に変化している。こうした中、古紙業界は製紙業界のサプライチェーンであり、強靱化を求められている。紙のリサイクルシステムを持続可能にすること、そしてSDGsを活用して発展することが古紙業界の課題だ。

人口減少により自治体の収入が減ると、やはりコストダウン対策として焼却に回すごみの量を減らすことが求められる。また古紙業界では、古紙の新たな掘り起こしを推進することが必要になる。今年の干支は癸卯(みずのとう)で、新たな時代につなぐよう飛躍の年にしよう。

【理事長挨拶】



栗原正雄 理事長

紙関連業界の安定的な推移を望む

昨年中は古紙業界一同、メーカーをはじめ、各団体の皆さまにご支援を賜り、無事に越年をできたこと、心より御礼申し上げます。本年も引き続き古紙業界をお引き立ていただきたい。

昨年の古紙は年間を通して、大変恵まれた年だったかなと思っている。一定の価格を1年を通して維持できた。本年も、そのような平穏な価格の推移が連続してくれれば大変ありがたい。ぜひ製紙メーカー、古紙回収業者の皆さまと共に手を携えて、今年も昨年のように紙関連業界が安定的な推移をするように、歩んでいきたいと思う。

【来賓祝辞】



経済産業省製造産業局素材産業課
吉村一元 課長

リサイクルチェーンの維持を

3年前は中国が古紙の受け入れを止め、日本に余剰の古紙が増え、価格が割れてリサイクルのチェーンが壊れるのではないかと状況だった。あの時は皆さまに努力していただき、中国ではなくアジアへの輸出、中国に対しては製品を加工しての輸出と、本当に工夫して乗り切っていただいた。

紙の生産自体が減っているため、古紙の発生が少しずつ減っている。輸出価格は上昇しているので、国内への供給が滞り、海外へ流れてしまうのではないかと心配していたが、国内の製紙メーカーへ第一に供給するという循環を続けていただいております、本当にありがたい。

カーボンニュートラルでは、燃料の転換も含めて本当に厳しい状態になると思う。サプライチェーン全体で、あるいは連携しての対応が必要になる局面も考えられるのではないかと。連携して少しでもコストを下げ対応することを全力で応援したい。カーボンニュートラルへの対応を中長期で少しずつ行っていただければありがたい。

日本は紙の世界については本当に古くから資源循環を実現している。今でもその重要性は揺るぎない。ぜひ、このチェーンを引き続き支えていただきたい。

【来賓祝辞】



日本製紙連合会 加来正年 会長

緊密な連携を取り、リサイクルシステムの発展を

わが国の製紙産業はロシアのウクライナ侵攻、急激な円安の影響により、原燃料価格の上昇が続く一方、紙・板紙の需要がコロナ前の水準までまだ戻っていない。

エネルギー多消費型産業の製紙業界については、エネルギーコストの上昇や円安の影響が甚大だ。昨年来、多品種にわたって価格修正を行っているが、コスト増加分を補えておらず、2023年3月期の決算は大変厳しいものになると見込んでいる。

今年の紙・板紙の需要については経済の正常化やインバウンド需要の回復により、段ボール原紙などパッケージ用紙や衛生用紙で堅調に推移すると考えている。一方、グラフィック用紙はデジタル化や人口の減少という構造的な要因から、引き続き厳しい状況が続くのは確実だ。

ただ、プラスチックの代替素材として紙製品やセルロースナノファイバーへの期待が高まるなど、明るい話題もある。本年こそは製紙業界のみならず、古紙業界の皆さまにとって少しでも明るい年になるように切望している。

新型コロナウイルスの感染拡大により、古紙の発生や回収量が減少した。製紙業界にとって重要な原料である古紙の需給や価格が急激に変動することは、持続可能な成長を目指す産業にとって好ましくないばかりでなく、古紙リサイクルシステムの維持を難しくするのではないかと危惧している。今後も、わが国の持続可能な紙リサイクルシステムを維持・発展させるために、全原連と緊密な連携を取り、問題意識を共有しながら対応していきたい。

日本製紙連合会では古紙利用促進のため、2025年までに古紙利用率65%という目標を掲げ、すでに昨年度までに目標を達成している。しかし、これは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、古紙利用率の低いグラフィック用紙を中心とした紙の生産比率が大きく減少し、古紙利用率の高い板紙の生産比率が相対的に上

昇した結果である。

古紙利用率65%の維持、さらなる古紙利用の促進を図るうえで、古紙の品質低下、新聞古紙をはじめとする原料に使用可能な古紙の発生量減少を危惧している。貴連合会では引き続き良い古紙を安定して供給していただくように、改めてお願いしたい。

[来賓祝辞]



松原仁 衆議院議員
(資源リサイクル推進議員連盟 事務局長)

元気に、意欲的に商売ができるように

日本の静脈産業の中で、歴史的にも伝統的にも、また質の面においても最も優等生なのは紙のリサイクル。昨今は古紙の持ち去りなど、いろいろなことが起こっている。そこに関してはしっかりと法的措置ができないかと、リサイクル議連では議論を進めているところです。何とか一つの方向性を見出したい。

リサイクル議連としては今後、リサイクル業者の立場に立ってさまざまな事柄を実行したい。例えば、愛知県ではごみの回収に関して、行政が行う場合はシートベルトをしなくても良いが、民間業者が行うとそうはならない。しかし同じ作業をしているわけだから、同じ扱いをするべきではないかと、環境省や警察庁と話を進めている。

皆さまが今年1年、良かったなど、これからわれわれには輝ける未来がやって来るとしてもらえるように、持ち去り問題やその他の問題

について、皆さまの要望をいただき、政府、政治家として受け止めて、皆さまが未来に向かって元気に、意欲的に商売を行い、安堵できるように私も汗を流していきたい。

【乾杯の発声】



公益財団法人古紙再生促進センター
長谷川一郎 代表理事

全原連と共に発展していく

古紙の利用率 65%、回収率 80%は本当に素晴らしい。日本人だからこそキメ細かく、しかも品質の良いものを選別して製紙メーカーに届けていただける、こういうシステムが出来上がっているのは素晴らしいことだ。当センターは来年に設立 50 周年を迎えるが、全原連と共にますます発展していきたい。

【中締め】



岩渕慶太 副理事長

「ブラボー」と言える年に

3年ぶりの新年会開催ということで、やはりリアルで出来たことは非常に良かった。私は飛行機を使って上京したが、機内は乗客も多く、もうコロナ禍以前の状況になるのではないかと思っている。今年1年が業界にとって、皆さまにとっても、サッカーではないが「ブラボー」と言えるような年になればと思っている。

【閉会の辞】



大久保信隆 副理事長

紙の減少を吹き飛ばせ

景気よく万歳三唱を行ったが、われわれは製紙会社が万歳をするような形にしなければいけない。特に「新しい資本主義」という中で、デジタル革命により紙が少なくなっている状況を吹き飛ばさなければいけない。それには、原料をしっかりと供給できる体制をつくらなければいけない。新聞は完全に国内用資源だ。折込チラシを含めると、新聞用紙の生産の 130%が新聞古紙として発生している。

新聞用紙は 70%が古紙を循環させ、30%は新しいファイバーを入れて出来上がっている。新聞は使いやすい原料であり、130%から 70%を引いた 60%を国内にしっかりと供給すれば、うまく循環が進む。一方、段ボールは絶対に国際商品だ。それをわきまえて、しっかりと供給責任を果たしていく。われわれ業者は、しっかりと実行することを宣言する。



東京都製紙原料協同組合の紹介

東京都製紙原料協同組合
渉外広報委員会 高橋 宏明

昭和22年(1947年)に当組合の前身である「東京故紙協同組合」が設立され、昭和31年(1956年)に「東京製紙原料協同組合」となる。昭和40年に日本出版販売株式会社(日販)より返本業務の施策に関する合理化案の申入れを受けて、当組合員の中から昭和41年3月に「東京返本加工協同組合」を設立。

平成17年(2005年)「東京都製紙原料協同組合」に名称変更。前身の組合からするとかなり長い歴史を歩んでいる組合です。

当組合は集荷業者と直納問屋との集直一体の組合であり、また産業古紙に関する東京都で唯一の組合です。地域エリアを9支部に分け、千代田・文京・台東・足立・荒川・山手・江墨・城南・城北支部で各支部から理事を選任してもらい理事長を中心に活動をしています。

コロナウイルスが出る3年前までは、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会など製本組合、印刷組合、紙器組合、古紙関係協議会と毎年懇

談会を開催していました。

また青年部会も親組合同様に東京製本二世連合会、東京都資源回収事業協同組合(東資協)青年部との情報交換など活動しています。

東京都製紙原料協同組合には理事および理事経験者が交流を通じて相互の啓発と親睦を深める事を目的とする「清風会」があります。行事としては新年会、納涼会、忘年会および研修会を開催しています。

<組合事業>

「TPICO 個人情報保護体制制度」組合独自の制度を導入し支援しております。資格取得者(36社)

「賛助会員制度」を組合員外との交流、連携をより促進する為に導入しております。

「共同購入」としてETCカード、ガソリンカード、プレス機のオイル交換、たのめーる等を導入しております。



令和4年10月 TPICO 維持更新研修会



令和4年12月 清風会



理事会



平成20年10月 60周年記念祝賀会

東資協青年部との合同勉強会

美濃紙業株式会社
近藤 英彰

日程：令和4年11月25日（金）19時より
場所：東京資源会館

この度、東京協組青年部では東資協青年部様と合同で勉強会を開催しました。東資協青年部様との活動は以前より年に一度情報交換会を開催しておりましたが、この数年間は新型コロナウイルス蔓延により実施することができませんでした。現在もその状況は続いておりますが、ウィズコロナということで皆様のご理解のもと開催し、現地参加とZoomを使用したハイブリッド形式で行いました。議題は、2023年10月より開始される「インボイス制度」について、木村会計事務所の税理士であります木村吉尚先生にご講義頂きました。「インボイス制度」が開始されることは把握しておりましたが、内容についてしっかりと説明をうけたことがなかったため個人的にも大変興味がある内容でした。

実際にお話しを伺ってみますとこれがなかなか難しい内容でして、我々古紙問屋にとっては様々な業態の得意先や業者様がいて、管

理が大変だなと率直に感じたわけですが、政府が一年を切った現在でも制度見直しや変更を二転三転しているようですので、対応に苦慮するかと想像しています。質疑応答で、廣田部長の交際費の領収書に関しては大変興味深かったです。笑

勉強会終了後は、会館1階の居酒屋にて交流会を行いお開きとなりました。「インボイス制度」は実施までにまだまだ変更される可能性があるようですので、来年も勉強会は実施すると思われますので、ご興味のある方はぜひまたご参加をお願いします。



東資協青年部との合同勉強会

本誌発行にあたり協賛いただいた各社へ厚く御礼申し上げます。
ご協力いただいた組合員の会社名を所属組合ごとに「協賛各社」としてご紹介させていただいています。

協 賛 各 社

【北海道製紙原料直納商業組合】

永大紙業 株式会社
三栄紙料 株式会社
株式会社 長勢紙業
株式会社 北海紙業
有限会社 丸昭上川原商店
株式会社 丸升増田本店

【東北製紙原料直納協同組合】

株式会社 SK トレーディング
株式会社 高良
山形資源 株式会社
株式会社 山傳商店

【全原連 新潟ブロック】

有限会社 鈴木商店
株式会社 帆苺商店
有限会社 山崎銅鉄店
有限会社 ヤマナリ猪又産業

【長野県製紙原料直納商組合】

前田産業 株式会社

【東京都製紙原料協同組合】

株式会社 工藤商店
株式会社 九十商店

【関東製紙原料直納商工組合】

株式会社 新井商店
飯野紙業 株式会社
株式会社 今井
株式会社 ウェル
ウブカタ資源 株式会社
王子浮間古紙センター 株式会社
王子斎藤紙業 株式会社
株式会社 大久保
株式会社 海原
株式会社 梶谷商事
株式会社 金子商事
株式会社 金澤紙業
株式会社 川鈴
株式会社 木場リサイクル
株式会社 木下
株式会社 共益商会
株式会社 久米川紙業
栗原紙材 株式会社
株式会社 グリーン
株式会社 國光
株式会社 小池商店
株式会社 近藤商店
株式会社 佐久間
株式会社 斎藤英次商店
株式会社 齋藤商店

株式会社 山愛
三弘紙業 株式会社
株式会社 須賀
株式会社 高岡
株式会社 タンザワ
株式会社 坪野谷紙業
株式会社 富澤
合資会社 豊田八郎商店
株式会社 中田
永田紙業 株式会社
有限会社 根本商店
株式会社 ハイグレード
株式会社 パルコム
株式会社 藤川紙業
株式会社 富士商会
株式会社 ブシュー
北越パレット 株式会社
株式会社 増田商店
株式会社 丸栄商店
株式会社 水越
皆川商事 株式会社
美濃紙業 株式会社
むさし野紙業 株式会社
株式会社 山室

【静岡県製紙原料商業組合】

株式会社 アカツキ

株式会社 市川商店

株式会社 稲葉

株式会社 岩田商店

株式会社 開発紙業

株式会社 スギヤマ紙業

株式会社 丸興佐野錦一商店

株式会社 丸元紙業

【中部製紙原料商工組合】

株式会社 石川マテリアル

北勢商事 株式会社

株式会社 宮崎

【近畿製紙原料直納商工組合】

株式会社 アライの森

共栄紙業 株式会社

共和紙料 株式会社

黒田紙業 株式会社

實守紙業 株式会社

玉木紙料 株式会社

大和紙料 株式会社

前田紙業 株式会社

株式会社 福井商店

【京都府紙料協同組合】

関西紙料 株式会社

【兵庫県製紙原料直納協同組合】

有限会社 仲商店

【中国地区製紙原料直納商工組合】

玉川慶洙商店 株式会社

福中商店 株式会社

株式会社 本田春荘商店

株式会社 ミムラ

明和製紙原料 株式会社

安田金属 株式会社

【四国製紙原料商工組合】

丸善商事 株式会社

丸八商工 株式会社

【九州製紙原料直納商工組合】

秋山商事 株式会社

株式会社 荒川商店

株式会社 イワフチ

株式会社 九十九紙源センター

株式会社 坪井商店

株式会社 寺松商店

日本紙料 有限会社

日本資源流通 株式会社

有限会社 馬場商店

株式会社 松本紙店

株式会社 丸清

有限会社 村岡儀一商店

ゆうび 株式会社

株式会社 リソースプラザ



POSTSCRIPT

SDGs「持続可能な開発目標」として、2015年の国連総会で採択され、貧困や飢餓、教育、男女の平等、働きがい、生産消費、生態系の保全など17項目の目標を掲げている。

11番の住み続けられるまちづくりを、12番のつくる責任つかう責任という項目があります。

もともと古紙業界は「SDGs」という言葉が使われる前からごみの減量や再生資源に「力」を入れてやり続けている業界と思っています。まだ項目にはいろいろありますが古紙業界としてできる目標項目もあります。

「SDGs」の言葉が出現したことにより今まで以上に注目される古紙業界ではないかと

思います。

新型コロナウイルスにより、会社に出勤しないでの「リモートワーク」が進んだことで紙の消費量にも影響があり古紙の発生減に繋がっている状態となっております。

今回のリカパーは各単組の理事長にその辺についても原稿提出をお願いしました。

寄稿して下さった皆様にお礼を申し上げます。

第7号編集長 高橋 宏明
(東京協組 渉外広報委員会)

■ 2023年8月発行予定 NO.8の編集長は静岡県製紙原料商業組合の石原純委員です。

■リサイクル関連機器メーカー

渡辺鉄工株式会社

代表取締役社長 渡辺 雅之

本社 〒830-0841
福岡県久留米市御井旗崎2丁目25番25号
TEL 0942-43-9111/FAX 0942-43-7521

Go Green



正隆集團
CHENG LONG GROUP

正隆グループ

資源の有効利用を追求する

山發日本株式会社

YAMAHATSU NIHON CO.,LTD.

〒104-0061
東京都中央区銀座3-4-6 正隆銀座ビル7階
TEL:03-5250-0928 FAX:03-5250-0938
<http://www.yamahatsu.co.jp>

- 古紙・古着・廃プラ・損紙等の買取・輸出
- 工作機械の輸入販売
- 段ボール原紙の輸出入販売
- LED照明の輸入販売
- 運送取次・その他輸出入業務代行
- 古紙用番線の輸入販売

ベーパー番線

最良の品質・防錆OK

ートラブル、ロスが少ないー

50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704



WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当：柿崎 貴信
TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ!

リサイクルシステム
クラウド版リリース

シンプルで
即戦力!

セキュリティと
災害に強い!

サーバ購入
・管理不要!

tam
東京自働機

処理スピードと独自のアイドリングストップで、消費電力を極限まで削減!!

省エネNo.1ベラー誕生!



Weco
スピード×省エネ
TAMベ어링システムRSEシリーズ

株式会社 東京自働機製作所
〒101-0032 東京都千代田区松本町3丁目10番7号(東白根ビル)
URL: <http://www.tam-tokyo.co.jp>
工場: 〒277-0885 千葉県柏市西原7-3-1

TEL 04(7152)2282

Mail balersystem@tam-tokyo.co.jp

link
リンク コーポレーション グループ

古着の貿易のことなら...

(株)エバーアドバンス

茨城本社/TEL.0297-21-3325
東京事務所/TEL.03-6260-8161
九州工場/TEL.0949-52-8900
(関連会社)

OVOL

紙、そしてその向こうに。



私たちはビジネスパートナーの皆様の
頼れる水先案内人として、
「紙」と、その先を見据えた明日へ航行してまいります。

日本紙パルプ商事グループ

www.kamipa.co.jp/

《 広告募集 》

— 問い合わせ先 —

全国製紙原料商工組合連合会
事務局

電話 03-3833-4105



がんばれ!
アノボク

危険を予知して 命を守れ!



キキ・ヨッチーナ
人々を危険から守るために
日々奮闘する魔法使い
危険予知、自分の力を
他の人に与える能力もある



ミエール・ルカ
危険を察知する能力を
持ったフクロウ
キキ・ヨッチーナの相棒



ウッカリーナ
人々が油断してしまう魔法をかけて
危険な目に合わせる魔女



ボンヤリー
その姿を見れば注意力がなくなってしまう
不思議な動物
ウッカリーナのペット



アンゼンマン

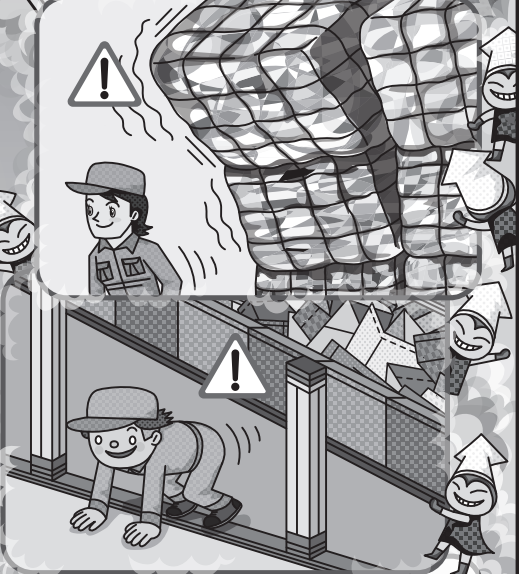
作業員 太郎さん

作業員 花子さん

安全おじさん

全原連号

マイッカ(隊)
大勢で現れて人々のやる気を
吸い取ってしまう1体の魔物



10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
11	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28
3	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31